

学校番号 (67)
福岡市立小呂小学校
校長 金床 和広 印
(生徒指導担当者 飯田 篤)

平成30年度 小呂小中学校いじめ防止基本方針

いじめの防止等のための取組に係る達成目標

- 定期的な校内研修として、4月に学校いじめ防止基本方針の共通理解、8月に学校いじめ防止対策委員会の取組内容改善、1月に次年度いじめ防止基本方針提案を行う。
- 生活アンケートや、いじめアンケートの結果報告を、毎月の生徒指導全体会の時に報告し、いじめの防止の取組につなげる。

1 いじめ防止等に対する基本姿勢

「いじめは、本校でも、どの児童生徒にも起こりうる。」という認識のもと、本校の全ての児童生徒が「明るく楽しい学校生活」を送ることができ、「小呂島や自己を誇りに思い、たくましく生きる力」を身に付けることができるように、「小呂小中学校いじめ防止基本方針」を策定した。いじめ防止のための基本姿勢として、以下の5つのポイントをあげる。

- (1) 「いじめは絶対に許さない」という毅然とした姿勢で対応する。
- (2) 学校・家庭・地域が連携し、教育力を高め、いじめの未然防止に努める。
- (3) いじめを発見したら、児童生徒の立場に立ち、解決に向け即対応する。
- (4) 校内の連絡協力体制を整備し、関係機関・相談機関との連携を図る。
- (5) 基本方針を家庭・地域に公表し、PDCAサイクルで改善を図る。

小呂小中学校いじめゼロ宣言

- ・私達は 友達を一人にしたり 傷付けたりは 絶対にしません
- ・一人ひとりのちがいを認め合い 互いに尊重し合います
- ・一人ひとりのSOS 気付いて みんなで助けます
- ・メールでは 自分の言葉に責任を持ち 人の心を 大切にします
- ・いじめにつながる言動を しません させません ゆるしません

2 いじめの未然防止

(1) いじめを生まない、させない、許さない児童生徒の育成

- ①児童生徒の自尊感情を高めるとともに、互いを認め合える人間関係を育む。→学び合い、努力する子どもの育成

- ②児童生徒の自発的な行動を促し，家庭と連携を取りながら規律正しい生活習慣を身に付けさせる。→**論を実践に生かす子どもの育成**
- ③小中合同の学校行事や保育所・小学校の交流行事等を通して，学年や校種を越えた人間関係や社会性を育成するとともに，自己肯定感を高めさせる。→**小呂島を誇りに思う子どもの育成**
- ④道徳や学級活動等の時間を使い，いじめについて考えるとともに，自己理解や他者理解を深め，信頼体験等を通して豊かな心を育む。
→**伸ばし合い，高め合い，認め合う子どもの育成**
- ⑤児童生徒の心身の状況を全職員が把握・共通理解し，学年や校種を超えた人間関係や社会性を育成する。→**心身ともに健康な子どもの育成**

(2) いじめを生まない学校の風土づくり

- ①児童生徒が自己存在感や充実感を感じ，安心して生活できる居場所づくり，絆づくりを行う。→あらゆる場面で**他者とかがわる体験**を仕組む。
- ②小中教職員が組織的な教育実践に努める。→**チーム小呂，協働的な研修**
- ③少人数，複式，小中9年間の系統的な教育，島の教育力，温かい地域住民等の教育環境を活かした教育活動を展開する。→**小呂小中らしい教育**
- ④アンケートの計画的な実施と個に応じた指導の徹底→いじめアンケート，Q-Uアンケートの実施と分析，家庭との連携，個に応じた支援
- ⑤「学校いじめ防止対策委員会」を月1回開催し，いじめ問題への組織的指導体制の整備，取組を推進する。→**P D C Aサイクルの点検**

3 いじめの早期発見・即対応

- (1) 教員の情報交換を密にし，生徒指導部会等を通して情報を確実に共有できる体制をつくる。
- (2) 生活ノート（αノート）等を利用し，児童生徒の様子や家庭からの情報収集に努め，いじめのヘルプサインを早期に受信する。
- (3) 教育相談を通して，児童生徒の気持ちや考えを把握するとともに，気軽に教員に相談できる雰囲気をつくる。
- (4) いじめを発見したら迅速な報告，初期段階での組織的な対応に努め，丹念な事実確認と解決に向けた適切かつ誠実，また迅速な取組・チームでの実践を行う。

4 いじめに対する措置

- (1) 被害児童生徒の救済，保護，ケアを第一に考える。
 - ①児童生徒，保護者の訴えを真剣に受け止め，被害児童生徒を守る。
 - ②被害児童生徒の心理的ダメージを考慮しながら事実確認を行う。
 - ③保護者と連携をとり，家庭訪問など誠意ある対応をする。

(2) 初期段階での組織的な対応を行う。

①問題解消のため、管理職が中心となり組織的に責任をもって対応する。

②状況や対応の経緯等について、客観的な事実確認を行い、職員会議、緊急いじめ対策委員会等を迅速に実施するとともに、速やかに教育委員会に報告する。

③問題が生じた背景を十分に把握し、早期解決、再発防止に努める。

(3) 関係機関・相談機関との連携を十分に図る。

①こころの教育相談員、教育相談課等と連携し、児童生徒や保護者の心のケアに努める。

②いじめの度合いによっては、福岡市こども総合相談センター(えがお館)、福岡少年サポートセンター等、関係機関へ連絡し連携を図る。

③「児童生徒の生命、心身または財産に重大な被害が生じる場合」、「いじめによって相当の期間にわたり学校を欠席している場合」、「児童生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあった場合」等の重大事態については、教育的な配慮や被害者の意向への配慮の上、早期に警察に通報・相談し、警察と連携した対応を取る。

(4) ネット上のいじめに迅速に対処する。

①児童生徒との話し込みや、教師間の情報交換を密に行い、ネット上のいじめを把握した場合、教育的な配慮や被害者の意向への配慮の上、すみやかに加害児童生徒への対応も含め、指導を行う。

5 いじめ防止のための職員研修

教職員のいじめに関する資質向上のため、以下(1)～(5)の校内研修を計画的・効果的に実施する。

(1) 学校基本方針の共通理解

(2) いじめ防止のための対策

(3) わかる授業づくり、すべての児童生徒が参加・活躍できる授業づくり

(4) アンケートの分析・活用

(5) その他、いじめに関して明らかとなった課題解消のための研修

6 その他(各取組PDCAサイクル等)

学校基本方針は、家庭・地域等へ開かれたものとし、取組が適切に機能しているかを学校いじめ防止対策委員会を中心に点検し、必要に応じて見直しを行う。

7 いじめ防止等の対策のための組織

(1) 組織の名称・役割

○ 名称

「福岡市立小呂小中学校 いじめ防止対策委員会」

○ 役割

- ・基本方針に基づく取り組みの実施，進捗状況の確認，定期的検証
- ・教職員の共通理解と意識啓発
- ・児童生徒や保護者・地域に対する情報発信と意識啓発，意見聴取
- ・個人面談や相談の受け入れ，およびその集約
- ・いじめやいじめが疑われる行為を発見した場合の情報等の集約
- ・発見されたいじめ事案への対応

(2) 組織の構成

役 職	氏 名
校 長	金床 和広
教 頭（小学校）	伊東 宗宏
教 頭（中学校）	河野 康樹
教務主任（小学校）	衛藤 勇治
教務主任（中学校）	溝口 恵
研究主任	平野 祥尚
こころの教育相談員	小田 義晴
養護教諭	岩永 美紀
生徒指導主事	檜木 昌司
生徒指導担当（小学校）	飯田 篤
スクールカウンセラー	教育相談課に派遣要請
スクールソーシャルワーカー	教育相談課に派遣要請
スクールサポーター	山地 晴美

8 重大事態発生時の調査機関

(1) 組織の名称・役割

○ 名称

「福岡市立小呂小中学校 いじめ防止対策委員会」

○ 役割

- ・重大事態の発生について教育委員会への報告
- ・重大事態に係る事実関係の調査
- ・調査結果を教育委員会に報告
- ・調査結果について関係児童生徒及び保護者への情報提供

(2) 組織の構成 上記7の(2)に該当学級教諭を加える。

9 いじめ防止等の各取組の年間計画（P・D・C・Aを記入）

月	児童生徒等への取組 及び児童生徒の活動		職員研修等		チェック
4	入学式（小中合同行事） 学校いじめ防止基本方針作成 学校生活アンケート	D P	学校いじめ防止基本方針作成 全職員共通理解のための研修 生徒指導部会 （いじめ防止対策委員会）	P D D	
5	いじめアンケート（無記名） 児童会・生徒会による取組 （いじめ防止取組月間）	D PD	家庭訪問 生徒指導部会	D D	
6	Q-Uアンケート 運動会（小中合同行事） 学校生活アンケート いじめゼロ取り組み月間	D D D D	生徒指導部会	D	
7	生活習慣定着度調査 教育相談アンケート（中） 学校生活アンケート（小）	D D D	生徒指導部会 教育相談 1学期の取組の検証 学校サポーター会議 地域懇談会	D D C DC DC	
8	いじめゼロサミット参加	D	夏季研修（Q-U事例検討会） 夏季研修（いじめの早期発見） ・2学期の取組の確認	CA D AP	
9	学校生活アンケート 児童会・生徒会による取組 いじめゼロ実現プロジェクト	D D P	生徒指導部会	D D	
10	いじめアンケート（無記名） 生徒会役員研修 児童会・生徒会による取組	D CA D	校内授業研 生徒指導部会	D D	
11	学校生活アンケート Q-Uアンケート	D D	生徒指導部会 教育相談	D D	
12	教育相談アンケート（中） 学校生活アンケート（小） 人権学習	D D D	生徒指導部会 ・2学期の取組の反省 ・3学期の取組の確認 学校サポーター会議 冬季研修（Q-U事例検討会）	C C CA CA	
1	いじめアンケート（無記名） 児童会・生徒会による取組	D CA	生徒指導部会	D	
2	教育相談アンケート（中） 学校生活アンケート（小） 保育所・小学校交流教室	D D D	生徒指導部会 教育相談	D D	
3	学校生活アンケート 卒業式（小中合同行事）	D D	学校サポーター会議 生徒指導部会 ・年間の取組の反省 ・年度の取組の確認	C C A	

※チェック欄は、A・B・Cを記入（Aが上位）